

寺社書上 湯嶋寺社書上、全

文政十亥年二月。文政八から十一(1825 - 28年)に江戸幕府は江戸の町々および寺社から、それぞれの由来などを書き出させた。寺社方121冊、町方146冊。

湯嶋天神の項に戸隠大権現関係あり。

文政十亥年二月

湯嶋天神并別當所取調書

別當
喜見院

(改頁)

湯嶋天満宮境内

東西五十七間二尺
南北四十五間三尺

(略)

一 天満宮

(略)

一 相殿

(略)

一 本社

(略)

一 勸請

(略)

一 祭禮

(略)

一 社領

(略)

一 神木

(略)

一 鰐口

(略)

一 棟札

(略)

一 額

(略)

一 戸隠大権現社

間口二間
奥行二間五尺

神躰天手力雄命木立像

作人不知
御丈六寸

祭禮 九月十日

但別ノ式ナシ

戸隠大権現御手洗池

當時門前町
町屋ノ内ニ跡アリ

同社豎額表

戸隠大権現

豎二尺一寸五分
横一尺三寸

表傍書

龍山馬直英拝書印

但裏書無之

右者當山地主神ニテ人皇二十二代

雄略天皇御宇二年癸丑初テ

此処ニ奉勸請

(貼紙)

二年ハ戊戌ナリ恐ハ十七年ノ誤ナラン

一 末社

(以下略)

註 国会図書館デジタルコレクション「湯島寺社書上」

(DOI 10.11501/2571424) の 13 コマ目に画像。